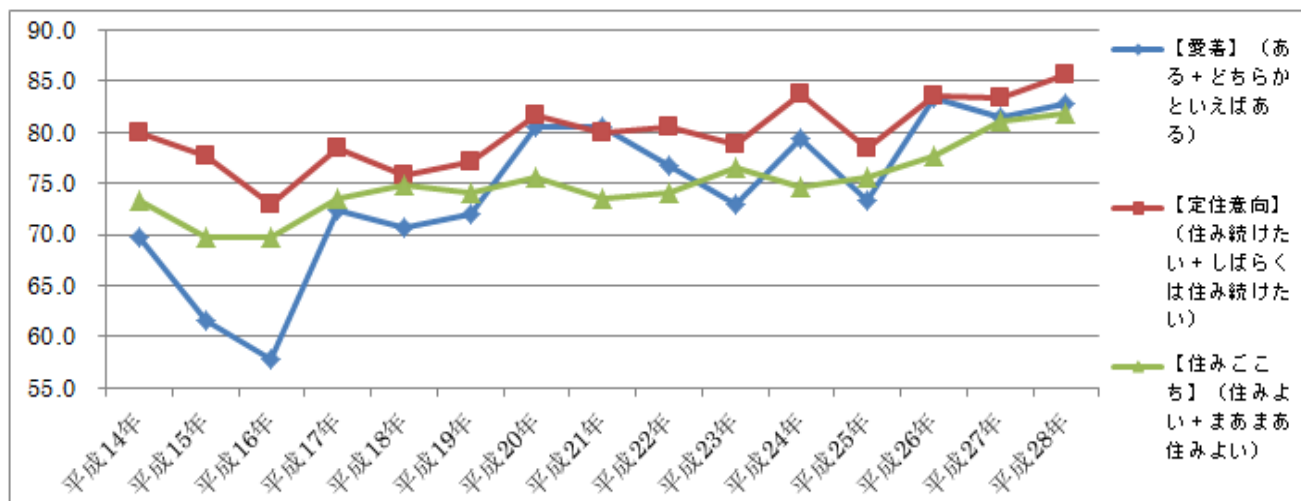


◎「市民意識調査」結果のポイント

■【愛着】【定住意向】が3年連続、【住みごこち】が2年連続で8割超え！

年度	定住意向	住みごこち	愛着
平成 28(2016)年	85.7%	81.9%	82.7%
平成 27(2015)年	83.4%	81.1%	81.5%
平成 26(2014)年	83.6%	77.7%	83.4%

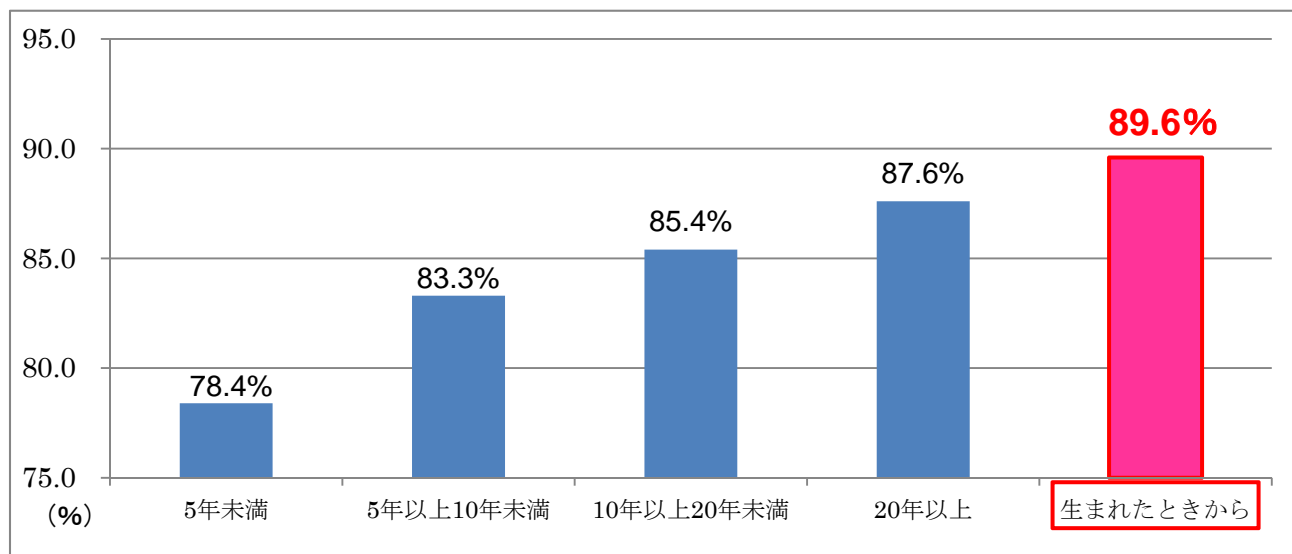
(参考) 過去15年間の推移グラフ



過去15年間（平成14年度以降、現行の選択肢で調査）の推移を見てわかるように、全体を通して市民の皆様からの評価が上昇傾向であることが見てとれます。

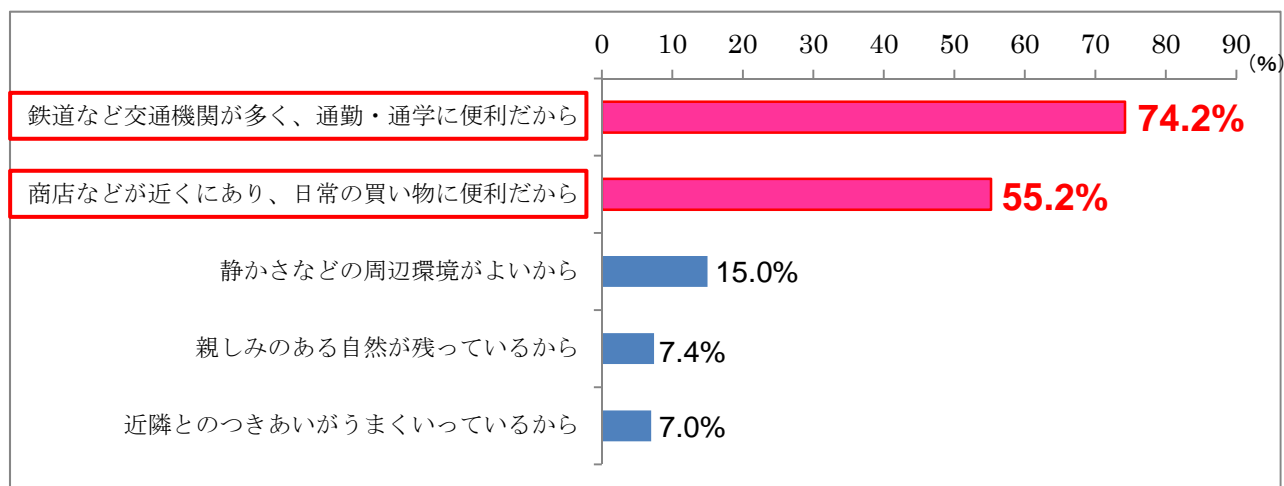
■設問毎の結果について（抜粋）

<1> 【定住意向】 これからも本市に住み続けたいと回答した人の、居住年数別割合



「住み続けたい」と回答した人（全体の85.7%）を居住年数別に見ると、居住年数が長くなるほど割合が高くなっています。生まれたときから船橋に住んでいる人に限ると、実に9割近くの人が“住み続けたい”と回答しており、“生まれ故郷 船橋”の意識の高さがわかります。

<2> 【住みごこち】理由別比較



船橋市を「住みよい」と感じている人に理由を伺ったところ、上図のとおり結果となりました。「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから（74.2%）」、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから（55.2%）」など、日常生活の利便性のよさをあげる人の割合が、非常に高いことがわかります。

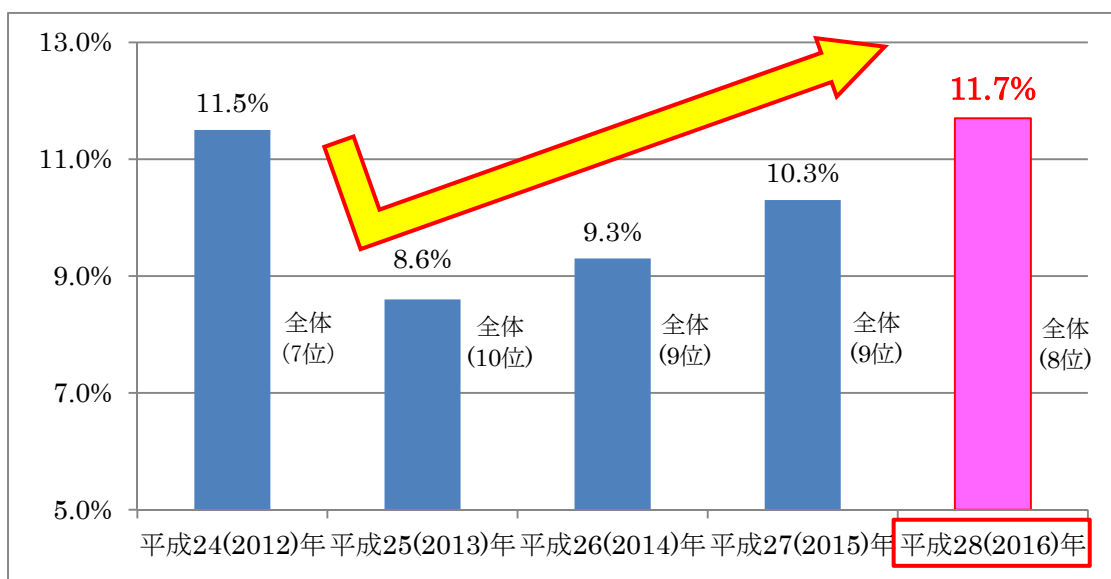
■【市の施策】ここ数年でよくなったもの

- 第1位 「各種検診や予防接種など予防体制の確立」(26.8%)
- 第2位 「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」
(25.9%)
- 第3位 「産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施等まちの
魅力の創出」(20.2%)
- 第4位 「下水道の整備など汚水処理体制の充実」(19.5%)
- 第5位 「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」
(13.7%)

市の施策37項目を提示し、「ここ数年でよくなったもの」を5つまで選んでもらったところ、1位から5位までは上記のとおりとなりました。昨年と順位が変わっておらず、安定した評価を得ているといえます。

特筆すべきは、近年、積極的に取り組みを行っている「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」。一度、評価が下がったものの、平成26(2014)年からは着実に上昇しており、今回の調査では37項目中8位、11.7%の人が「ここ数年でよくなったもの」に挙げてくれました。

「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」を挙げた人の割合



■「平成28年度 市民意識調査」の概要

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 調査対象 | 船橋市在住の満18歳以上の男女3,000人 |
| (2) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (3) 調査方法 | 郵送法（郵送配布—郵送回収法） |
| (4) 調査期間 | 平成28年8月5日（金）～8月24日（水） |
| (5) 有効回収数 | 1,255人（41.8%） |

■回答者のプロフィール

(1) 性別

	基数	構成比 (%)
1. 男性	522	41.6
2. 女性	720	57.4
(無回答)	13	1.0
合 計	1,255	100.0

(2) 年齢

	基数	構成比 (%)
1. 18～29 歳	118	9.4
2. 30～39 歳	219	17.5
3. 40～49 歳	322	25.7
4. 50～59 歳	245	19.5
5. 60 歳以上	338	26.9
(無回答)	13	1.0
合 計	1,255	100.0